北たた 北に出会いし者たちよ に生まれ 奢れる者たちよ し者たちよ

永遠に祈りし 北に歌える者たちよ し朝は未だかなわず

鳴呼願わくば二度糸を紡ぎて

百年に織りたる衣は当に引き裂かれんとす。

限りなく澄みわたる穹北の空に舞わんが

朝される 熟寝の夢の幸せよ けむる今ひとときの

美は崩れゆく北都なり 覚めて現に見渡せば

天空常に雲抱けども は萌えて大地をまねく

> 清がれっ 陽は 彷ょき 徨ま 荒野に明日を信じつつ
> があり 傾きて我を見るかたぶ い行ける寂しさに の野に道を 耕がやし

虚っ は映えて風を斬る V ,ゆける時にこそ

青葉の降るや青春の寮庭がおばいるという。まればいまれゆきがは触ばまれゆき

楡は枯れず空をさす時は人はと変われども 胸に秘め 忘るるなかれ大願を し涙痕 を

奥田 新井 和 桂 人君 君 作曲 作歌